

事業者行動計画書 ~~—(変更計画書)—~~

2020年 4月 23日

(宛先)

滋賀県知事



提出者

住所

(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

滋賀県草津市馬場町1100

氏名

(法人にあっては、名称および代表者の氏名)

日本トーカンパッケージ株式会社 滋賀工場

常務執行役員 滋賀工場長 佐々木 康雄

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 (第20条第3項 ・ ~~第20条第4項~~
~~第22条第1項~~ ・ ~~第22条第2項~~において準用する
~~同条例第20条第4項~~) の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~—(変更)—~~ したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	日本トーカンパッケージ株式会社 代表取締役社長 山本 隆
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	東京都品川区東五反田2-18-1 大崎フォレストビルディング16F

1 事業所の概要

事業所の名称	日本トーカンパッケージ株式会社 滋賀工場			
事業所の所在地	滋賀県草津市馬場町1100			
主たる事業	細分類番号	1	4	3 2 段ボール製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者			
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者			
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者			

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

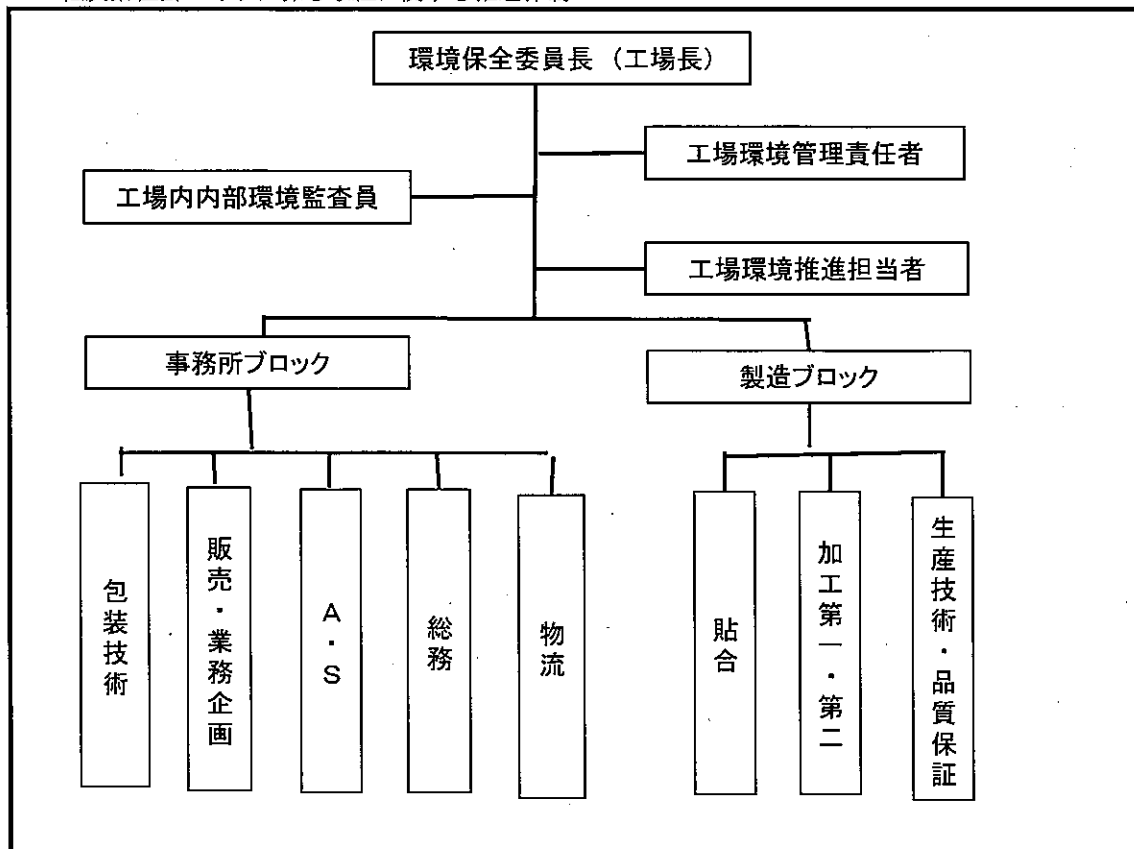
1 計画期間

計 画 期 間	2020 年度 ~	2023 年度
---------	-----------	---------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

別紙「シート 環境方針 環境目的」を参照してください。東罐興業グループ 環境方針、環境目的の通り

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

環境方針

環境目的

2020年4月1日

基本理念

東確興業グループは包装容器を通じて生活文化の向上を図るとともに持続可能な地球環境を保全するためバリューチェーンにおける環境課題の継続的改善に取り組み社会に貢献します

基本方針

1. 省エネルギーに努めCO₂排出量を削減します
2. 製品ライフサイクル（資材調達から生産・物流・消費・廃棄/リサイクル）の各段階における環境負荷を配慮して商品開発と技術開発に努めます
3. 投入資源の削減や企業活動により発生する排出物の減量化・再資源化に努めます
4. 地球環境保全に関する諸規制を遵守するとともに自主管理基準を設定し環境保全の維持向上に努めます
5. ステークホルダーとの共生を旨とし環境コミュニケーションを行います

東確興業株式会社

代表取締役社長 笠井 俊哉

2015年6月19日

1. 排出物削減と資源循環の推進

2. 事業活動に伴う環境負荷低減の推進

3. 社外流出事故の事前防止

4. 違法の精神に基づき各種規制のチェックと対応

中央環境委員長

高橋 精康

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

環境マネジメントシステム(ISO 1400) 認証取得

ボイラー燃料を都市ガスに転換

コンプレッサー台数制御装置設置

水銀灯を高効率タイプに変更

フォークリフトのバッテリー車化

冷暖房の室温取り決めと各所への温度計設置

社用車を順次ハイブリッドカーに置き替え

PCB使用機器の全廃

HCFC(フロンR22)使用機器の計画的廃止

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	HCFC(フロンR22)使用機器の計画的廃止	2020年～2023年
2	生産活動	不良率の削減に取り組み、生産過程で使用するエネルギー、資材、副資材等の使用資源有効活用を図る。	平成27年度基準年比2%アップ
3			
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記等の取り組みにより

$$\frac{\text{エネルギー使用量(原油換)}}{\text{倉入れ生産量}} = \text{前年比1\%削減}$$

を、図ります。

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

・主要生産品の段ボールは、リサイクルに優れ、回収率95%以上の数値で製紙工場において再利用されています。
自社内では、100%リサイクルを行っています。
尚、今後の事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組として、
生産過程で使用するエネルギー、資材、副資材等の資源を有効に活用することを目指して行きます。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標:
リサイクル率95%以上 100%を目指します。

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	3Rの推進	社内では、廃棄物の分別、再利用を定着させ、リサイクル率を、2019年度実績 99.87%を維持します。	2020年度実施
2	自動車燃料使用量 低減	社有車を更新する際は、低燃費車を選定し、環境負荷の低減を図ります。	2020年度実施
3			
4			
5			
6			
7			
8			